

さつきやま魂

12月3日 第14号
 文責 校長 山下



師走(しわす..12月)になりました。現在、校門横にはピンク色のきれいなサザンカの花が見ごろとなり、子どもたちの登下校を見守ってくれています。また、職員駐車場のツバキの木にはつぼみがつき、間もなく開花の時期を迎えようとしています。気温もぐっと下がり、確実に冬の到来を告げています。全国的に新型コロナウイルス感染症が広まっているので、各家庭でも、新しい生活様式を取り入れ、予防の徹底をお願いします。

ところで、皆様は、サザンカとツバキの違いを御存知でしょうか？私は、恥ずかしながらよくわからず調べてみました。すると、次のようないくつかの見分け方があることがわかりました。

- ①開花時期： サザンカは10月～12月。ツバキは12月～4月。
- ②花の散り方： サザンカは、花びらが落ちる。ツバキは、花首から落ちる。
- ③花の形： サザンカは、平面的で薄い。ツバキは筒状で立体的で厚みがある。
- ④葉の葉脈： サザンカは、中心が黒っぽい。ツバキは、中心がクリア。
- ⑤葉の裏側： サザンカは、葉脈に沿って毛が生えている。ツバキは、毛が生えていない。

12月



実際に、校門横のサザンカと駐車場のツバキを観察すると、確かにサザンカの花は、花びらが落ちていました。葉の裏側も毛が生えています。この年齢になっても、自分で疑問に思ったことを、自分で調べて、解決できたことは嬉しいものです。また、このようにして得た知識は忘れないものです。身近なところにも、「これは、何?」と思うことがよくあります。それが、課題発見です。自分で課題を発見して、自分で解決する力が身に付くと、これからの社会を生き抜く力につながると思えます。



<校門横のサザンカ>



<駐車場のツバキ>

鶴南特別支援学校との交流学习

11月16日、鶴南特別支援学校五島分校の中村豪吉君が、交流学习で崎中に来校しました。約1年ぶりの交流でしたが、体育の授業や学級活動での交流を楽しみました。わずか2時間の交流でしたが、「楽しかったです。」という豪吉君の声が聞かれました。きつと、卒業後も友だちとしての交流が続くでしょう。



税についての作文 見事入賞!

「税についての作文」募集で、3年生の橋本和泉君が、見事、福江商工会議所会頭賞を受賞しました。11月19日、商工会会頭の清瀧様が来校され、本校校長室で表彰していただきました。おめでとう。



人権について考えよう

明日人権集会を行います。昨日は、講師をお招きして、人権についてのワークショップを実施しました。詳しくは次号で紹介しますが、ぜひ、御家庭での話題にしてください。

「釜石の奇跡」

11月27日、防災訓練を行いました。今回は、地震により、火災及び津波が発生したことを想定して実施しました。1学期の避難訓練の時、「釜石の奇跡」という話をしました。東日本大震災で、岩手県釜石市の全小・中学生の99.8%が助かったことは本当に奇跡なのかという内容です。

災害から命を守る一番簡単で確実な対策は、「何かあったら避難」ということです。釜石の児童生徒が無事に避難することができた要因に、防災教育で常に意識していた「避難3原則」がありました。

- 原則1...想定にとらわれないこと
- 原則2...その状況下で最善を尽くすこと
- 原則3...率先避難者になること

特に、原則2や原則3においては、主体的な判断力が必要となります。人はいざというときなかなか「逃げる」という決断はできません。自分が状況を主体的に判断し、勇気を出して率先避難者になることで、他の人を救うことができる。釜石では、まさにその通りになりました。

「主体性(さつきやま魂)：自主、大切な資質・能力ですね。」